

令和4年度第11回理事会議事録

日 時	令和5年3月27日（月）午後7時00分より
場 所	麻生キッチンりあん
出席理事	木村 弘 理事長 劔物 忍 専務理事 内平 淳一 理事 加納 洋平 理事 中村 恵美 理事
欠席理事	佐藤 典子 副理事長 生嶋 宏治 副理事長 柏崎 辰徳 理事 井上 尚謙 理事
事務局	奈良 正彦
会議次第	1、出席者数確認 2、前回理事会議事録確認 3、討 議
理事長挨拶	商店街の総会も間近に迫ってきたので、その辺も考慮して理事会を進めていきたいと思う。50周年関係も随時進めていただきたい。
議長の選任	定刻に至り、専務理事劔物忍氏開会を宣し、本日の理事会は定足数を満たしたので、有効に成立した旨を告げ、専務理事劔物忍氏が議長となり、議案の審議に入った。
議長	議案書に沿って審議を進めていく。 議案1の前回議事録の確認について、各自確認しておくこととする。 特になく、全会一致で承認された。
議長	議案2に入る。50周年企画進捗状況ということで、記念誌のほうはどうか。
中村氏	前回の理事会から進展はしていない。
議長	前回の理事会でタイトルを募集したいとのことで、コンセプトとして『つながる』とされていたので、『紡ぐ』というのはいかがでしょうか。次回以降に検討することとする。
議長	式典のほうは進展していない。記念品のほうは、麻、リネンを使ったトートバッグを考えている。予算が決まった以降にまた検討していく。
議長	議案3の審議に入る。この間の三役会でざっくりと話をしたが、議案書に記載の議案第2号令和5年度事業方針及び計画(案)並びに収

事務局 支予算(案)について、大まかな方針は話していたが、その後どうか。通常総会について、日程と会場、時間、あとは司会などの役割を決定していただきたい。議案書下段のほうにスケジュールを記載してあるが、このあたりがぎりぎりのものではないかと思っている。決算が出るのが4月末ごろになるが、4月24日に理事会を開いてもらって決算書を見ながら次年度の事業計画と今年度の事業報告書、これは事務局で作る、その上でどのようにしていくか検討していただきたい、4月24日の理事会を考えている。その前に事務局から案を作成するので理事の皆さんは前もって検討しておいていただきたい。5月8日に監査を入れ、決算が承認された後に理事会で決算書を承認していただく。その後、総会の招集通知を出したい。総会は5月26日を考えているが、皆さんの都合はどうか確認していただきたい。会場を手配しなければならないので、早めに決定していただきたい。参考資料として、決算、予算の一覧を出してあるが、これは2月末の数字で、暫定的なものである。事業については記載していないので、どのようなものを作るのかを決めていただきたい。できれば4月24日までに事業報告と合わせて出していきたい。

議長 この間の三役会では、夏祭りなどの事業についてはやる方向で考えていたが、どうか。

理事長 先の市商連理事会では、理事長からすべてのイベントは今年は実行する方向でいるので各商店街も実施の方向で検討していただきたいとの話が合った。麻生としては連町の夏祭りに合わせて実施するなどしていきたいし、ほかに新しいイベントなどがあれば提案していただきたい。

事務局 とりあえずイベントはやるということで考えるが、資料について、イベント事業として85万ほどの予算を組んでいるが、この予算内でどんなイベントをやるのかなど決めていかなければならない。

内平氏 おてらくごについて、平岸などがやるそうなので、覚王寺も6月と秋に実施する予定であるので、広告宣伝費の負担をお願いする。

事務局 おてらくごの実施を織り込んで予算組してみる。

理事長 秋に50周年の記念イベントとして実施してもらうのいいのではないか。

事務局 次の事業の亜麻そば会食はどうか。

理事長 会場として覚王寺はどうか。

内平氏 覚王寺は以前と比べると狭くなっているし、亜麻そばだけではなく、ほかのイベントと合わせるほうがいい。

議長 時期はいつか。

事務局 10月ごろだ。

理事長 亜麻そば会食はこれに代わる企画を考えなければならない。昔ほど

客数はない。あさぶらっとはどうか。

事務局 夏祭りは実施するのか。

理事長 実施するようなので、予算組みするのがいい。

内平氏 夏祭りと亜麻そば祭りを一緒にするのはどうか。

理事長 連町の夏祭りが決まったら、亜麻そばの実施を打診してみる。

事務局 一度実施の方向で予算を組んでみるが、次の理事会の前に予算案を回しますので、皆さんに見てもらわないと進まない。

議長 それではイベントに関しては事務局で作ってもらうことにする。

事務局 50周年記念事業だが、資料に予算を記載してみた。記念誌については、当初の印刷部数が変更となっているので、見積りが変わるのではないかと。これにりあんの委託料と担当者の作業料がどれだけ必要かを見なければならない。

中村氏 当初350部印刷の見積もりであったが、印刷部数を200部に減らし、その分をイラストなどの経費に回すとの話をしていた。

事務局 記念品のほうは20万、式典についてはどこの会場か決まっていなが、会場費10万円を上げてある。その他合計で210万としている。収入の分であるが、合計で30万円を見込んである。

理事長 助成金があるかを確認したい。山内さんのほうからいくらか期待できるのか、未定である。近いうちにまちづくり協議会に打診しに行きたい。

事務局 環境整備だが、3月末までには3400万ぐらいは行けるのではないかとみている。まちの灯りについては、以前もっと大掛かりでやるのはどうかとの話が出ていたが、どうなるのか、未定である。

街区振興事業ですが、りあんについて、結構収入が上がってきている。これまで商店街から60万の委託料を出しているが、現在WAMからの助成金が300万出ているので、そこから家賃などを負担してもらっている。コロナ禍が収まってくれば、売り上げも上がってくるので、商店街の収入も増えることになる。次のページにりあんと商店街の関係を図示してみたが、参考としてみていただきたい。一般管理費は予算と実績は均衡しているが、5年度については若干上げている。資料の最後の総合についてだが、まだ前年度を下回るなので、イベントの費用などをもう少し考えることができるのではないかと。予算に関しては、もう一度組んで見て皆さんに回すので、検討していただきたい。

議長 議案4について、事務局から説明を求める。

事務局 「おいでよ！商店街」という商工会議所からの企画であるが、ほかの商店街なども多く参加しているので、麻生商店街も参加してはどうか。費用は掛からず、撮影などは商工会議所が手配するプロのカメラマンということで、商店街がやるのはお店の選定と日時調整と

なる。募集は5，6店となる。

議長 公平性を図るというのであればみんなに案内しなければならない。

理事長 それに関係するが、札幌プレミアム商品券を札幌市で実施する。8月1日からこの券が使えるようになるが、買うのは個々に申し込んではがきをもらってローソンで購入するということである。これを利用し組合加入促進に使うのはどうか、という話が昨日の市商連の役員会で案内があった。

理事長 「おいでよ！商店街」については事務局任せになるが、不公平にならないように一回案内をして希望者がなければこちらで選定する、ということでどうか。

事務局 今週中にFAXを流すので、その状況を見て出店舗を選定することにした。

事務局 道振連の商店街新報に麻生商店街の記事が出たので、参照しておいていただきたい。

議長 議案書の報告事項について、議案書に沿って確認した。

事務局 五叉路の記事がないので、どなたかに書いてもらうことになる。事務局のほうで原稿を担当することとする。

議長 次回理事会は4月24日だが、臨時で開催することがある。

その他案件を確認し、すべての議案の審議を終え午後8時30分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作り、出席理事がこれに記名押印する。

令和5年3月27日

麻生商店街振興組合理事会

議 長 理 事

劔物 忍

木村 弘

内平 淳一

加納 洋平

中村 恵美

劔物

木村

内平

加納

中村

佐藤 典子（欠席）

生嶋 宏治（欠席）

柏崎 辰徳（欠席）

井上 尚謙（欠席）